公約達成状況

ビジョン 教育最先端都市へ

教育の進化 IT・教育関連企業との協働による先進事例を導入。教員、保護者に向けてICT活用のフォローアップを実施します。

実施方針補足	教育各分野の専門家を招集し、専門的見地から調査研究する組織等体制を構築します。
進捗・成果	【達成】R４年～ DX会議、未来創造協議会を開催しています。クリエイティブチームを結成しました。

教育の深化 心の育ちに必要な教育カリキュラムを導入。ICTの活用で、心や発達の問題にも早期アプローチします。

実施方針補足	ICTの活用により、個性や特性を生かす教育環境や個々の心や発達の状態を専門的な見地から把握するプログラムなどを検証します。
進捗・成果	【達成】・R４年～「幸せになるための教育を実現する会議」を立ち上げ、教育委員会へ提言しました。 ・R５年 教育委員会において、学校教育重点目標に「幸せ」を加え、各学校の具体的方策を決定、展開しています。

ビジョン 高度医療が受けられる都市へ

【検討事項】半田病院の民営化を検討します。〈目指したいモデル〉藤田医科大学病院・刈谷豊田総合病院

実施方針補足	まずは地方独立行政法人化を着実に進め、さらなる発展のための選択肢の一つとして検討します。
進捗・成果	【達成】　R７年の常滑市民病院との経営統合・地方独立行政法人化に向け、病院運営の課題等の協議・検討を行っています。また、民間手法を参考にベンチマークによる経営分析や費用比較、購入物品の試用・検証・採用、産官学共同による事業の研究を行いました。

ビジョン 6次産業モデル都市へ

地元の豊かな食材（野菜・果物、肉、魚介）を重要資源にし、世界に展開できる特産品の開発・販売支援をします。

実施方針補足	プロジェクトリーダーを任用し、農村・漁村発イノベーションを推進し、力強い農業基盤をつくります。
進捗・成果	【取組中】・R４年～ 6次産業化プロジェクトリーダーを配置し、農家ヒアリングを実施しました。 ・R５年～6次産業化相談窓口の開設、農業マルシェ「にこもぐ」等の開催により農家ネットワークを構築しました。 ・R６年～農家ネットワークを広域化し、ECサイトを活用した情報発信力の向上と販路拡大等の支援を行いました。

食品科学の研究機関・大学を誘致します。

実施方針補足	誘致への道筋をつけるよう関係機関と協議します。
進捗・成果	地元企業、大学との協議や、その他企業、大学の調査に取り組んでいきます。

公約 民間の人材を積極的に取り入れます

副市長の公募

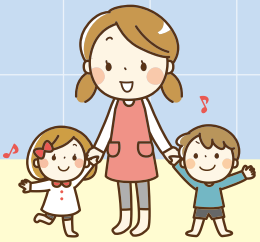
実施方針補足	中心市街地の活性化を主な担当業務とする市長特任顧問を公募、採用します。
進捗・成果	【達成】副市長級の市長特任顧問の公募を行い、R４年12月に任用しました。

プロジェクトリーダーの公募

実施方針補足	６次産業の業務へのプロジェクトリーダーを採用します。
進捗・成果	【達成】6次産業化プロジェクトリーダーの公募を行い、R４年12月に任用しました。

公約達成状況

半田イズム1　子どもたちは未来への架け橋



公約　「未来を担う人づくり」の理念のもと、子育て環境 知多半島No.1の街を目指します。

実施方針・補足　子育て支援施策全体の現状分析、調査研究を行い、今後真に必要な支援策の実施につなげます。

進捗・成果
【達成】・R４年～ 子どもの成長や子育ての悩みなどを安心して相談できる総合相談窓口（こども家庭センター）を開設しました。（知多半島初）
・子育て支援事業検討プロジェクト会議にて、子育て施策の提案書をR5年に作成しました。提案に基づき、子ども医療費の無償化や２子目以降の保育料無償化、登園準備の保護者の負担軽減（お昼寝ふとん・食事エプロンを各園で用意）など子育て支援施策の拡充、拡大を進めました。

公約　独自のカリキュラム導入を可能とし、幼稚園・保育園の質の向上を図ります。また早朝・延長などの預かり方や、駐車場などの送迎環境の見直しで、保護者へのサポート強化も図ります。

実施方針補足
・キャリア教育の理念（子どもの生きる力を育むことを重点）に「半田市幼児教育カリキュラム」に独自項目を盛り込みます。
・使用済み紙おむつの園での回収など保護者負担の軽減を図ります。19時までの開所園の増加、送迎用駐車場環境の改善など実態を把握し、具体例を検討していきます。

進捗・成果
【達成】・「半田市幼児教育カリキュラム」を見直し、半田市の教育保育の特色として、キャリア教育の理念を取り入れ、独自項目である「人との関わり方の基礎を培う」という内容を追加、各園で展開しました。
・R４年10月～ 保育園での紙おむつの回収を開始、紙おむつのサブスクリプションを導入。
・花園保育園を民営化し、開所時間を19時30分まで延長、休日保育を開始しました。
・乙川保育園の送迎用駐車場用地を新たに確保しました。
・不足する送迎用駐車場の確保を進め、保護者へのサポートの強化を図ります。

公約　夏休みなどの長期休暇や祝日、また子どもを取り巻く諸問題に対応できる、子どもの居場所（サードプレイス）づくりを推進します。

実施方針補足　長期休業期間中（春・夏・冬休み）における留守家庭児童の居場所として、既存の放課後児童クラブ等と連携し、小学校の余裕教室等を活用し長期休業期間中に限定した預かり事業を実施します。

進捗・成果
【達成】・R４年～ 春夏冬休み放課後児童クラブ1施設を整備しました。
・R５年～ 春夏冬休みの放課後児童クラブを各中学校区に1クラスずつ、5クラス開設しました。

公約　ファミリーサポート制度をバージョンアップさせ、お試し無料券を配布。
子育ての「ちょっと助けてほしい！」を積極支援します。

実施方針補足
・利用者支援専門員を配置します。
・お試し無料券を配布します。

進捗・成果
【達成】・R４年～ 利用者支援専門員を配置し、依頼会員のご希望に応じて最適な事業の組み合わせの提案、子育ての不安や疑問を気軽に相談できる体制を強化しました。
・R４年～ 気軽に利用できる機会を提供し、子育てを積極的に支援するため、１歳６月児の保護者への無料券配布を開始しました。

公約 クラス担任以外の専門チームやICTの活用で、不登校・ひきこもりの個々の状況に向き合います。

実施方針補足
・現在各中学校区に配置されている専門員等のチームに学校運営協議会の委員等の民間人を加え、地域と一体となり支援対策を行います。
・教育支援センターの増設や、オンライン授業体制の整備を行います。

進捗・成果
【達成】・全中学校区で不登校対策チームに教員以外の様々な立場のメンバーを加えました。
・福祉や心理の専門家などとともに、不登校対策の体制充実に努めています。また、担任教師が子ども一人一人の様子を記録し、その内容をAIで分析するなど、これまでにない不登校対策について、ICTの活用や可能性を調査・研究しています。

公約 小学校の教科担任制を進め、教員の負担を軽減します。

実施方針補足
・小学校高学年について、全ての学校で音楽・英語・理科など複数の専科教員を配置します。
・地域と学校を円滑につなぐ学校地域協働支援員を配置し、学校運営を支援します。

進捗・成果
【達成】・全小学校高学年において、学級担任同士の授業交換を含め、２教科の専科教員を配置しました。
・学校地域協働支援員を２校に配置しました。今後も順次拡充を図ります。

半田イズム2 シニアの方への感謝をカタチに

公約 シニアの生きがいづくりへの投資を増強し、健康寿命100歳を目指します。

実施方針補足
健診結果や医療・介護のデータを一元的に集約し、高齢者への訪問指導や通いの場での健康教育等に活用することで、高齢者の健康状態や生活機能の向上を図ります。

進捗・成果
【達成】
R４年度に機構改革を行い、福祉部に新たに健康課を設置し、健康に関する取組を一体的に実施する体制を整えています。高齢者の「疾病予防・重症化予防」や「生活機能の維持・向上」「健康意識の醸成」など多様な健康づくりを推進しています。

公約 新半田病院への半田市北部からの救急車アクセス道路を、開院までに整備します。

実施方針補足
救急車アクセス道路を整備します。

進捗・成果
【達成】島田橋の耐震補強、島田橋～野崎交差点の道路拡幅及び、知多横断道路から新病院に直接アクセスする緊急車両退出路を整備しました。

公約　超高齢化社会に向け、特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護事業所などの福祉施設を計画的に整備します。

実施方針補足
・第８期介護保険事業計画を着実に進めます。
・R６年度以降は、R５年度末策定の第９期介護保険事業計画にて整理します。

進捗・成果
【取組中】①認知症対応型共同生活介護〈定員 R３年度 243名→R６年度 261名に〉
（第９期計画における定員 R８年度末に261名）
②認知症対応型通所介護　〈定員 78名→ 63名〉（第９期計画 87名）
③（看護）小規模多機能型居宅介護〈定員 133名→ 162名〉（第９期計画 191名）
④特別養護老人ホーム　〈定員 320名→ 320名〉（第９期計画 360名）
⑤特定施設入居者生活介護〈定員 96名→ 126名〉（第９期計画 215名）

公約　新たな手段や地域特性を視野に入れた、高齢者の移動手段の確保を急ぎます。

実施方針補足
タクシー活用等デマンド運行の検討します。

進捗・成果
【達成】・有脇地区、横川地区および板山地区において、おでかけタクシー制度を本格導入しました。
・半田市北部において、AIデマンドバスによる実証実験を実施しました。
・知多半島総合医療センターと自宅の行き来に特化した新規タクシー制度を導入しました。
・半田市北部における公共交通空白地域の解消および亀崎・有脇線の改善の取組について、実証実験を交えて進めます。

公約　認知症の予防～早期発見～社会での共存生活までのトータルケア体制の整備を急ぎます。

実施方針補足
地域の事業所等と連携してネットワークをつくり、認知症の方やその家族の悩みを早期に受け止め、地域でともに生活できる体制を整備します。

進捗・成果
【達成】・認知症地域支援推進員を１名→３名へ増員しました。
・市民に分かりやすい認知症ガイドライン作成、認知症カフェと連携した家族支援のための交流会（ご家族応援プロジェクト）等を開催しました。
・さらなる啓発活動等を行い、地域でともに生活できる体制整備を進めます。

半田イズム3 くらしを支える強い経済

公約 市長トップセールスで企業誘致に挑み、市内の雇用を3,000人増やします。

実施方針補足

〈石塚地区（16ha）〉 県による企業用地造成の決定を目指し、早期に分譲開始します。
〈中億田地区（8ha）〉 本地区を重点促進区域に追加した地域未来投資促進法に基づき、庁内で方針を定め手続きを進めます。
〈企業立地施策〉 企業再投資促進補助金等の施策により事業者を支援します。

進捗・成果

【取組中】〈石塚地区〉 区域内地権者の同意を取得し、県との調整の結果、事業決定されました。令和12年度の分譲開始に向け、市はアクセス道路等の基盤整備を進めます。
〈中億田地区〉市建築条例等を制定し、中億田地区に企業が進出できる環境を整えています。
〈企業立地政策〉各種補助金等を交付し企業支援を行い、雇用がR５年度までに541人増加しました。

公約 官×民から成る常設の産業振興会議でつくる、市独自の経済活性策を実行します。

実施方針補足

産業振興会議を設置し、本市に必要な経済活性化策を実施します。

進捗・成果

【達成】・R４年～ 農商工の関係者と有識者で構成する産業振興会議を設置し、本市に必要な経済活性化策の検討を開始しています。
・R５年～ 産業振興会議からの意見を受け「人材獲得のための分科会」と「未来志向の勉強会」を立ち上げ、「はんだオープンファクトリー」や「未来志向の勉強会」、「地元企業PR事業」を実施しました。

公約 就職氷河期世代の非正規雇用者の正社員登用、リモートワークの導入、男性の育児休暇取得、ひとり親への働き方配慮などを促進。労働にまつわる社会問題の解決に寄与する事業所に一定の条件で助成をします。

実施方針補足

・産業振興会議で労働にまつわる社会問題について、議論を進めていきます。
・国・県の政策を的確につないでいきます。

進捗・成果

【取組中】〈就職氷河期世代等の支援〉
県が実施する氷河期世代を対象にした研修や奨学金返還支援補助制度について、市でもPRを実施しています。
〈結婚・出産・育児などで離職した女性の再就職支援〉
中心市街地に「半田市創造・連携・実践センター」を設置し、セミナー等を実施しています。また、県と連携し、女性活躍推進セミナーの開催、啓発冊子を作成するとともに、相談事業やパソコンスキルセミナーを実施しました。

公約 新規起業や業種転換を応援するビジネスチャレンジ制度をつくります。

実施方針補足

・商業施設助成事業において、中心市街地出店促進エリアの拡充を図るとともに、チャレンジショップ事業を拡充します。
・産業人材育成拠点を設置します。

進捗・成果

【達成】・R４年～ 商業施設助成事業の対象エリアを拡充しました。
・R６年 中心市街地にチャレンジしたい方が集える拠点として「半田市 創造・連携・実践センター」を設置し、起業・創業支援をしています。

公約　1次産業専業従事者の所得向上を目指し、耕作放棄地の再生、AI導入、地産地消市場拡大などを支援します。

実施方針補足　農地の集積及び集約による耕作放棄地の再生・抑制、効率的な農業による生産性を向上させます。

進捗・成果　【取組中】・有脇地区をモデル地区として、農地の集積・集約化の取組を実施しました。
・R４年～ 県の補助事業「スマートシティモデル事業」を活用し、ほ場の水管理や米の収量予測に関する実証実験に取り組んでいます。

半田イズム4　くらしを包む、まちの温もり

公約　安心安全な地産食材、郷土食を学校給食に積極的に採用し、食育と地元生産者応援を叶えます。なお、予算超過分は補助します。

実施方針補足　・地元食材を採用するための予算を計上し、学校給食での安心安全な地産食材の積極的な採用をします。
・市内産農畜産物を使った「地元給食の日」を実施します。

進捗・成果　【達成】・R４年　１月～３月に、毎月１回、地産食材を積極的に採用した献立による「地元給食の日」を実施しました。
・R４年～ 半田市産の食材の購入費を新たに予算計上し、地産食材の産地指定を拡大しています。

公約　「山車・蔵・南吉・赤レンガ」半田が誇る文化を保存・継承します。また、学芸員を配置した山車文化の発信拠点をつくります。

実施方針補足　・展示、講座を文化保存団体と協働実施します。
・学芸員増員を検討します。
・山車文化発信拠点は当面は博物館が担います。

進捗・成果　【達成】・R４年３月 博物館展示整備基本方針を策定しました。
・R４年～　文化保存団体が披露する場を創設、展開しています。
・R６年～　学芸員を増員しました。

公約　男女平等の観点で、まずは市役所での女性管理職の登用を加速させます。LGBTQ、障がいのある人、外国籍市民などの、多様性があたりまえの共生社会を目指します。

実施方針補足　女性職員が活躍できる職場環境づくりを進めます。また、男女間に差をつけることなく、キャリアの育成やマネジメントのスキルの向上ができる職場づくりを進めます。
パートナーシップ制度を導入することで、LGBTQの方々に対する施策の推進を行い、併せて「半田市男女共同参画推進条例」の改定等の必要性の議論を進めます。

進捗・成果　【達成】・R５年～ パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を導入しました。(知多半島初)
・R５年～ 女性リーダー研修を積極実施。働きやすい職場づくりを進めています。
女性管理職割合を10％以上に引き上げました。(R３年度 5.7％→R７年度 11％)

公約

衣浦海底トンネルの無料化・低料金化に挑戦します。三河地域との往来をスムーズにし、衣浦大橋の渋滞緩和や通勤の利便性を高めます。

実施方針補足

①衣浦トンネルの無料化・低料金化について県への要望を実施します。
②衣浦大橋トラス橋の架け替え及び周辺の渋滞対策について要望活動を実施します。

進捗・成果

【取組中】・R５年～ 衣浦大橋西向き左折専用レーンの開通。東向きトラス橋の架け替え３車線化に向けて県と協議を進めています。
・R３年～ 衣浦トンネルの無料化・低料金化について、県への要望を実施するとともに近隣６市町（半田、碧南、高浜、常滑、西尾、武豊）にて衣浦トンネル意見交換会を立ち上げました。
・R６年～ 臨港道路中央埠頭西線において、通勤時間帯の交通渋滞を緩和するため、右折レーンの設置を進めています。

公約

市民活動助成金の制度に、市の課題に応じた助成率を設定。
申請・相談窓口を拡充し、市民の活動をさらに応援します。

実施方針補足

市の重点的に取り組んでいることを、特に一緒に取り組んでもらうよう、助成率に変化をつけます。

進捗・成果

【達成】・R４年～ 市民活動助成金制度に市の課題に応じた助成率の設定を開始。教育・子育て分野の助成率を3／4 → 9／10に拡充しました。
・説明会のほか、希望に応じて個別及び訪問による説明相談を実施し、対応の拡充を図りました。

公約

障がいのある方の親が亡くなった後を見据え、生活を地域で支える体制をつくります。

実施方針補足

・障がい福祉サービス利用者のうち、介護者（親）不在時に居住支援やヘルパー支援を必要とする方に対し、緊急時や親なき後を想定したプランの作成を推奨し、介護者（親）がいるうちから必要な支援につなげていきます。
・障がい者等の地域での生活を支援するため、継続的に地域生活支援拠点等の機能強化に努めます。

進捗・成果

【達成】・R３年～ 障がい福祉サービス更新に合わせ緊急時プランを作成しています。
（R６年９月末現在 1,185件）
・R３年～ 地域生活支援拠点等の整備基準の見直し及び検証を実施しています。
（面的整備1ヶ所、地域生活支援拠点等コーディネーター1名配置）

コロナ緊急対策

公約 地域ごとにコロナ緊急サポートセンターを設置します。(相談窓口・ワクチン接種申し込みサポートなど)

進捗・成果
・就任前に市に提案したことから、ワクチン接種申し込みを公民館等で実施しました。
・実施本部での相談体制の充実及び代行予約の実施により、その後設置を取りやめました。

公約 半田市がコロナ禍で職を失った方を臨時雇用します。

実施方針補足 正規職員採用時及び委託業務で雇用する際、コロナ禍で職を失った方の採用を推進します。

進捗・成果 【達成】 R４年３月まで、空港関連職員を７名雇用しました。

公約 影響が甚大な業種・事業者を、国とは違う角度から支援します。

実施方針補足 市内経済の活性化を誘導します。

進捗・成果 【達成】 R３年～R６年に下記を事業を実施しました。(主なものを記載)
・地域振興券事業　オンライン販売サイト「いいかも半田セレクト」を開設し、販売促進。
・ふるさと納税サイトの販売増のためのEC促進支援。
・交通事業者支援。(貸し切りバス、タクシー)
・公共交通事業者(路線バス、タクシー)燃料費支援。
・学校給食における地産食材提供。
・農家への飼料等に係る費用を補助。
・低所得世帯や子育て世帯への給付。
・キャッシュレス決済ポイント還元。

公約 自宅にこもりがちな高齢者の健康ケアを促進します。

実施方針補足 自宅にこもりがちな高齢者に対し、健康的なライフスタイルにつながるプログラムを提供します。

進捗・成果 【達成】・R４年1月に国立長寿医療研究センターと「高齢者の健康増進事業に関する協定」を締結しました。
市内の公園でポールウォーキング等を行う「コグニ倶楽部」を実施しました。
・自宅でも取り組むことができる運動プログラムを、地域の通いの場「げんきスポット」の活動団体を通じて実施・周知しました。

公約 コロナとの共存を前提に、市民・経済活動への支援をします。

進捗・成果 【達成】・市民活動への支援として、「令和３年度版 新型コロナウイルス協生部門」による支援を緊急実施。「活動継続支援助成」制度を創設しました。
・経済活動への支援は、上記「影響が甚大な業種・事業者を、国とは違う角度から支援します。」項をご参照ください。

防災・危機管理、ごみ減量問題と協力還元策

公約　災害時の資機材の拠点となる半田消防署の建て替えを検討します。

進捗・成果
【達成】・R３年～ 市と消防署による検討チームを立ち上げました。
・R６年　建設予定地を成岩出張所周辺と定め、予定地に係る不動産鑑定評価及び物件調査を実施しました。
・R７年　施設の設計等に着手します。

公約　被災地へのボランティア参加を推進、現場での学びを半田市の防災に生かします。
費用補助、フィードバックの仕組みなど、関係制度の整備を急ぎます。

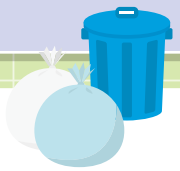
進捗・成果
【達成】・R４年～ ボランティア派遣事業を組み立て、災害が発生し被災地がボランティアを受入れ可能な際には、速やかに派遣できる体制を整えました。
・R６年　自主防災会等へ声掛けし、能登半島地震で被災した石川県志賀町へ40名のボランティアを派遣しました。

公約　自主防災活動を支援し、共助の体制づくりを急ぎます。

実施方針補足
・組織間で情報共有し、レベルアップにつなげます。
・避難所開設や運営等を行う体制づくりを進めます。

進捗・成果
【達成】・自主防災会連絡会を開催し、避難所運営等の先進事例を情報共有しています。
・R６年までに避難所開設委員会など、住民のみで避難所を開設できる体制を市内８か所で整備しました。

公約　ごみ減量を強く推進します。
埋立て地の問題、持続可能な社会をめざすためにも早急な対応が必要です。



実施方針補足　ごみ減量化と共に、資源化品目を増やすなど資源化を強く推進します。

進捗・成果
【達成】・リサイクルセンターで金属類、プラスチック製品、木製家具の資源化を開始しました。
・公共資源回収ステーションでの回収品目に廃食用油、乾電池、蛍光管、ペットボトルキャップを追加しました。

公約　指定ごみ袋の無料配布（世帯への基礎配布方式を検討）をします。
市民のごみ減量協力への還元とし、一定の条件を設けます。

実施方針補足　ごみ減量の目標値を設定し、達成した場合に、資源化を推進する方針から資源回収袋を無料配布します。

進捗・成果
【達成】市内全ごみステーションへの貼紙の設置や市報・半田市公式LINEでのごみ減量の啓発の結果、R４年度・R５年度ともにごみ量目標値を達成！資源回収袋を全市民に配布しました。